

お便り紹介



A様からのお葉書とクリスマスカード

急に秋になってしまいました。
天変地異… 天に祈り自分に戒め、過ごしています。
二十三日は、楽しく、有意義に、松本の介護シンポジウムに出られました。
一日中「サンダル」を身につけリクライニングチェアも使用させていただいて、お話に集中できました。
帰宅した頃一寸「靴とのすれ」がありましたが、勿論我慢出来る程度です。
このままずっと履き続けられると思います。
いろいろありがとうございました。

今年はサンダルの事で、一方ならぬお世話になり、ありがとうございました。
私は、寒さに向けて幾分不自由になりつつありますが、サンダルとスリッパ両方をうまく使いわけつつ、何とか過ごしております。
皆様、意義深くお過ごし下さいませ。
イラク派兵案じつつ。

山梨県にお住まいの、87歳になられる内科医の女性の方です。
(私事ながら、ずいぶん以前になりますが、家族で患者としてお世話になっていた先生です。長年関わってこられた消費者運動や医師としての経験を生かして、常に前向きに日々を送っておられます。)

脊椎管狭窄症を患われ、前傾姿勢が強く、また、外反母趾で足趾の変形が大きく、趾が重なっているために、ウオノメに悩まされておられました。

今回、ご希望により、室内用の履物として、サンダルを作成させていただき、ご自宅用に、また、デイサービスの時などの屋内用に、お使いいただいています。

ご病気から体のバランスも悪くていらっしゃる上に、筋力低下もあることから、靴の高さの微妙な調整が難しく、ご満足いただくまでにファックスや電話でやりとりしながら、何度かお直しをお受けしました。

今では愛用のサンダルになられたご様子ですね。

A様のような場合は、補正靴を履くことにより体のバランスが変化するため、特に筋力の弱い方は、慣れるまでに時間もかかりますし、また、細かいお直しが必要なこともよくあります。

初回のお渡しは「仮合せ」と思っていたが、よりぴったりとご自分のものになるよう、あきらめず、お直しを遠慮なくお申し付け下さい。

B様からのお手紙

拝啓
今年は台風や地震と天変地異の年にて驚いております。
先日は貴店にお伺いし、大変お世話になりました。
殊に足のみならず、歩行をご覧戴き、現在履いている靴の踵外側を補正下さいましたこと、大変具合よく感謝申し上げます。

頂戴しましたパンフレット「子供の足の本」、「ERDE Zeitung」の数々も拝見させていただき、…………… 補正靴に情熱をかけてお出でのお姿がよく分かりました。
今後も何卒宜しくお願い申し上げます。

……………

お願いしました靴と足底板、急ぎませんが宜しくお願いします。 敬具

福島県にお住まいの内科医で、やはり同じく脊椎管狭窄症の73歳の男性の方です。

B様は、すでに補正靴を履いて慣れておられましたので、歩かれる様子も拝見し、少しお直しをさせていただきました。

ご満足いただけたようで、嬉しく思います。

ご自分の患者としてのご経験から、医者の仕事の有り様に厳しいご提言をなさっておられる現役のお医者様です。

お元気で活躍下さいますよう。

C様からのお手紙

先日は中敷きをありがとうございました。
購入した時から気持ちよくはかせていただいていたのですが、補正の中敷きのおかげで、まるで自分の足の一部のようにぴったりになり、歩くのが楽しくてわぎと遠回りしてしまいたくなるほどです。
次は、足底板を直して下さいますようお願いいたします。
今や足底板はなくてはならないものになっています。
良いものをつくっていただいていたことに感謝しています。

ましたが、その後のチェックの度に症状が改善し、O脚も見違えるほどの変化ぶり。

「他に何もしていないので足底板のお陰」とのことです。3人の可愛いお子さんたちの子育てにお忙しい方ですから、たくさん足を使っているのが、効果を早めたかもしれません。

今回は、新しく開発したコルクフットベッドに補正をし、専用のウォーキングシューズに入れて履いていただくことになりました。気に入っていただけたようですね。

コルクフットベッドは、履くほどに足になじむ素材ですので、足底板とはまた違った履き心地だと好評です。

神奈川県にお住まいの40歳の主婦の方です。
4年前から足底板を愛用して下さっています。
初回ご来店時には、足の疲れとO脚、腰痛を訴えておられ